

登山時の新型コロナウイルス

感染防止対策を！

～登山者一人ひとりの意識と取組みが大切です～

体調不良時は登山を控える！

- ◆ 体温測定など体調を確認し、せき、発熱等の症状がある場合は、登山を控えて下さい。入山中も検温を継続し、体調管理に努めましょう。



山での発症はリスク大！

- ◆ 入山時には元気でも、入山後に発症する可能性もあります。高所では、血液中の酸素を取り込みにくいことなどから、感染症を悪化させるリスクがあります。

救助に当たる人やその後の影響も考えて！

- ◆ 感染の疑いのある人が遭難した場合、防疫対策を整えたうえで救助活動に当たり、通常より準備に時間がかかります。また遭難者の感染が判明した場合、その後の救助活動やヘリコプターの運用に支障がでる可能性があります。

事前の情報収集を忘れずに！

- ◆ 営業形態や定員を変更している山小屋やキャンプ場もあるので事前の確認が必要です。日程に余裕を持ち、体力や技術に見合った無理のない登山を心がけましょう。



自分の身は自分で守る！

- ◆ 山小屋やキャンプ場でのマスク着用、手洗い、手指消毒の徹底、人と人との距離の確保など、各自でできる感染防止対策の取組みをお願いします。